

加古川
グリーンシティ

228号



団地管理組合法人加古川グリーンシティ
管理組合広報委員会
グリーンシティ自治会
管理事務所 ☎425-6852
ホームページ <http://www.greencity.gr.jp/>
メールアドレス kanrikumiai@greencity.gr.jp

第26期管理組合理事候補者抽選終了

代表理事任期満了に伴い、B棟1名、C棟1名、F棟1名の代表理事候補者を公募しましたが、立候補者がなかったため、BCF棟の代表理事候補者各1名を選出するにあたって、各棟から5名の方を抽選により選出しました。選出された方(案内を配付)は9月25日(土)午後7時から集会所ホールで開催する「理事候補者選出会議」にご出席ください。当該棟の5名の話し合いで1名の候補者を選出していただきます。

自分や家族が住む加古川グリーンシティを少しでも「住み良いマンション」にするため、ぜひ積極的に参加をお願いします。

「ごみ」の出し方について



「燃えるごみ収集日」に、燃えるごみと一緒に「**ピンヤカン**を入れたごみ袋」が出されて収集されなかったり、「燃えないごみ収集日」に「**テレビ(リサイクル品)**」が出されて収集されなかったりという事例が多発し、ごみ分別の意識低下が目立ってきています。

このような状況が続くようであれば、他の町内で実施されているような「**夜間のごみ出しを監視する立当番制**」も導入せざるをえません。

たった一人の「自分さえよければ」が居住者全員に迷惑をかけることになっています。

決められた規約・ルールを守ることは最低限の居住者の義務であることを自覚して、暮らしやすい生活環境を創っていきましょう！

修繕委員会からのお知らせ

緊急放送設備検討のために試験放送を実施します

現在、敷地内には緊急時やイベント等で利用できる放送用スピーカーが一箇所(C棟前)しかありません。そのため、緊急時の重要なお知らせ等が一部の住戸にしか届かず、十分に効果を発揮していません。

当委員会では、グリーンシティの全住戸に聞こえるような放送設備を検討していますが、まず、どのようにスピーカーを配置し、どのくらいの音量が必要かを確認するために、試験放送を実施します。

実施予定日：9月23日(祝) *天候等により変更する場合があります。

設備不具合報告

- ・西側チェーンゲートのレール部不具合
補修日程を調整中です。(工事中は片側通行となりますので、ご協力をお願いします)



環境整備委員会からのお知らせ

鳥害対策について

9月1日現在約50件以上が、各住戸ベランダ部に鳥害対策用ネットを設置されています。設置の申し込みは終了しましたが、後日、業者に現状の施工金額で今後も希望者に設置ができるよう、要請をしていきます。また、各棟塔屋、共用部への対策は、現在G棟で一部仕様を変更し試験運用中です。

今後、共用部の糞害が著しい場所を重点的に対策を検討していきます。

敷地案内看板リニューアルについて

大規模修繕工事も完了し、建物も含めてグリーンシティの敷地内はとてもきれいになりました。

しかし、JRの高架化や来客駐車場の新設、第6駐車場の削減など、竣工当時とは形状が変わっているものも多くなり、敷地内案内看板の内容が実態にそぐわなくなってきました。

現在、案内看板のリニューアルに向けて最終デザインの検討をしています。ご期待ください。

「防災の日・防災週間」

9月1日は『**防災の日**』、1923年に関東大震災が発生した日でもあり、暦の上でおおむね『**二百十日**』です。台風シーズンを迎える時期で、1959年9月26日の「伊勢湾台風」による戦後最大の被害が契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、『**防災の日**』が創設されました。また、1982年から、『**防災の日**』を含む一週間を『**防災週間**』と定めたのです。

台風と言えば、忘れてはならない台風による海難事故があります。イギリスの豪華客船タイタニック号の沈没に次いで、2番目に大きな犠牲を出した海難事故が日本で起きています。1954年北海道函館で発生した青函連絡船を含む5隻の沈没事故です。台風による猛烈なシケで乗員・乗客1447人が死亡しました。この時の一番大きな連絡船から名前をとって「洞爺丸台風」、この事故を「洞爺丸事故」と呼んでいます。

この5隻の船は、台風をやり過ごそうとして函館港の港内、港外で錨を下ろし、大荒れの海で、風と波に流されないように備えました。しかも乗員・乗客を満載して台風を待ったのです。台風がそのまま駆け抜けていれば全く問題はなかったのですが、この台風は迷走し、その動きはゆっくりで、陸上も海上も猛烈な風雨に長時間さらされました。風力は船の推力を圧倒し、ボイラー室に浸水して推力を失い、コントロールできず錨をひきずり迷走しました。そして、風波を受けて転覆をしたり、座礁して船体が破断し沈没した船もありました。

この悲劇を現代の日本人への教訓とすることは、できないでしょうか。船長は、その時台風が遠ざかるという誤った判断から乗客の下船を禁じ、出港を命じた。その結果、やってくる台風を乗客と共に沖合で待つはめになり、乗客を守るべき立場にある人物が「何よりも大切な乗客の命」を危険にさらし、多くの死をもたらす道を選んでしまったのです。

今日の我々日本人の多くは、洞爺丸の船長と同じ誤りを犯していないでしょうか。「15年前にあの兵庫県南部地震が来たから、関西に地震はもう来ない!」と、自分勝手な判断をしている人が多いと言うことです。全ての事が「今のままであれば良い」と、願っているだけならまだしも、土壇場になるまで「何とかなる」と危険を気にかけない人、「誰かが何とかしてくれるだろう」と思っている人が多いようでは困ります。自分にとって、最悪の事態にコストを掛けて備えるくらいでなければならぬ。洞爺丸事故では、船長としては乗客を下船させるくらいでないと困るということです。

このようなことから防災とは、待つものではなく、『**一步前に踏み出す勇気**』が必要ということなのです。



身近なことで防災活動をするとは、インフルエンザの対策とよく似ています。「インフルエンザと免疫抗体」の関係と同じで、「災害と災害に対する抗体」の関係と同じように考えられます。

インフルエンザワクチンは免疫抗体を作ります。ワクチンを接種することで身体の中に免疫抗体ができます。その結果、インフルエンザにかかりにくくなり、たとえかかったとしても軽い症状で済みます。しかし、予防接種しているワクチンの型が違えばかかる可能性も高まります。インフルエンザは毎年、新聞やニュースなどでも話題になる病気で、例外なく流行するものです。自分や家族がかかったときのことを考え、どんな型があり、どんな症状なのか。また、流行時期を把握しておけば事前に対策をとることもできるので、基礎知識は頭に入れておくべきです。かかれば合併症も怖い病気で、命を落とす人もいますので注意が必要です。とにかく、かからないように予防する。ワクチン接種も大切なように、日々の手洗いやうがいも効果があるのです。



以上のようなことは、災害対策も同じです。災害対策には『**災害ワクチン**』が必要になります。その災害ワクチンこそが「**防災**」なのです。災害ワクチンを接種するとは、言い換えれば防災活動をするので、災害に立ち向う災害抗体ができるのです。それが「**備える**」ということになります。

予防する災害の型が違っていれば、効力は少なくなりますが、やらないよりはやっておけば、少しでも被害は軽減されるのです。それを自分だけではなく自分の周囲の人にも接種すれば、効果は確実に高まっていきます。そして毎年の防災週間で、再接種することにより、色々な型に対処できる災害抗体が備わるのです。

また、日々の手洗いやうがいと同じく「生活防災」を日常の生活の中に組み込めば、災害に対する抗体は更に強力なものになります。しかし、ここで言えることは「インフルエンザワクチン」も「災害ワクチン」という防災活動も、あなた自身に接種をする意志がなければ、何も始まらないということです。

『**災害ワクチン**』は一度限りではなく、生涯にわたって繰り返し接種する必要があります。その経験が「より良い災害ワクチン」をつくり、積極的に接種することで、災害抗体を身につけていけば、突然の災害に出会ったとしても、あなた自身はパニックに陥らず状況に応じた対応が可能になります。

それは、あなたの大切な人の命を危険にさらすことは無くなるということです。

年に一度は『災害ワクチン』の接種をしましょう!

参考：広瀬弘忠「どんな災害も免れる処方箋」

自治会からのお知らせ 自治会役員が決定しました

来期自治会役員を募集していましたが、定員に満たなかったため(5人留任)、管理規約の「自治会運営細則」に基づき、9月4日(土)午後7時から集会所ホールにおいて公開抽選会を行った結果、13名の方が選出されました。当該の方には別途ご連絡しますので、ご協力をお願いします。

抽選対象箇所および人数

対象	人数	対象	人数
A棟 1～7階	1名	D棟 1～7階	2名
A棟 8～12階 およびG棟	1名	D棟 8～14階	2名
B棟 1～7階	2名	E棟 1～7階	2名
B棟 8～14階	1名	E棟 8～14階	1名
C棟 1～7階	1名	F棟 1～5階	0名
C棟 8～14階	0名	F棟 6～10階	0名

高齢者調査と記念品贈呈

昨年から各町内会・自治会ごとに敬老の行事を実施していますが、行政からは個人情報保護を理由に高齢者リストが配付されなくなったため、グリーンシティに居住する高齢者の実態が把握しにくい状況となっています。

現在、自治会ではグリーンシティに居住する高齢者の調査を実施しています。8月末に調査票を各戸へ配付していますが、主旨に賛同される方は調査票の提出をお願いします。

来る9月25日(土)に集会所ホールで開催される「なかよしひろば」において、グリーンシティに居住されている**70歳以上のお年寄りに敬老の記念品(カステラ)**をお渡ししますので取りに来てください。



少年補導委員からのお知らせ

「氷丘中学校でボヤ」

8月4日(日)夜間、中学校に不審者が侵入し、南西部プレハブ倉庫脇でワラに火をつけボヤが発生。幸い早期発見にて倉庫にもたいした被害を受けなかった。愛護センターより連絡を受け重点的に中学校へのパトロールを実施した。

少年団からのお知らせ

楽しかった夏休みも終わり、2学期がスタートしました。団員の皆さんも元気に学校へ通い、運動会に向けて毎日練習に取り組んでいることと思います。

少年団では全員集合会に向けて準備を始めています。参加申し込みをいただいたみなさま、ありがとうございました。

<全員集合会のお知らせ>

開催日：10月17日(日)

雨天：10月24日(日)

時間：午前8時20分から

場所：氷丘南小学校運動場

らく?はや!メニュー

そろそろ涼しくなってきた～!!!と祈る気持ちですが、残暑も半端じゃない今日この頃ですね。しんどい～!!!ときは、できるだけ超簡単のらく?はや!で、手早く調理&栄養補給できるメニューを!!!と思ってしまう。という訳で、今月はまたまた丼物『なすとキムチ丼』です。

〔材料(2人分)〕

なす・・・2本(200g)

白菜キムチ・・・40～50g

豚バラ肉・・・100g

めんつゆ・・・50cc

水・・・40cc

ごはん・・・丼1杯

もみのり・・・適量



〔作り方〕

なすは縦半分に切って、厚さ7mm～8mmの斜め切りにする。

豚肉はスライスのを2～3等分の長さに切る。

フライパンで切ったなすと豚肉を強火でしんなりするまで炒める。

中火にして、に白菜キムチを加え、めんつゆを入れて更に炒める。

丼にごはんを入れてをのせ、もみのり(きざみのり)をかざって食べる。

*見た目の色はよくないが、ポリフェノール、発酵素で夏の疲れ予防にもなる。

*味が足りないと感じるときは、キムチの素を少し加えてみたり、めんつゆを増量したりして自分の味にしてください。



ご意見、ご要望などをどしどしお書きください。(ご記名をお願いします)

